



平成 24 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 大日本スクリーン製造株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 橋本 正博
(コード番号 7735 東証・大証 第1部)
問 合 せ 先 経 理 部 長 太田 祐史
TEL (075) 414 - 7155

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 8 日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	113,000	3,500	3,000	2,000	8.43
今回修正予想 (B)	97,000	△1,800	△2,100	△3,400	△14.32
増減額 (B - A)	△16,000	△5,300	△5,100	△5,400	—
増減率 (%)	△14.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	123,021	9,000	8,815	6,531	27.51

(2) 平成 25 年 3 月期通期 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	247,000	15,000	14,000	11,500	48.45
今回修正予想 (B)	213,000	3,500	2,500	500	2.11
増減額 (B - A)	△34,000	△11,500	△11,500	△11,000	—
増減率 (%)	△13.8	△76.7	△82.1	△95.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	250,089	13,498	12,284	4,637	19.54

(3) 修正の理由

今後の経済環境は、欧州債務問題の長期化や新興国の景気減速などにより、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。また、当社を取り巻く事業環境では、半導体業界において、スマートフォンやタブレット型端末などの需要増加を背景とした設備投資は見込まれるものの、世界的な景気減速により、メモリーメーカーや一部ファブドリーなどの半導体メーカーは設備投資抑制の動きを強めています。

このような環境のもと、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、主に半導体機器事業の売上・利益が前回予想を下回ると見込まれることから、上記のとおり第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたします。

なお、当社が展開している、SE、FE、MPの各事業環境は厳しい状況にあることから、海外調達の拡大など変動費のさらなる削減や経費削減による損益分岐点の引き下げなど、安定した収益構造の確立に向けた取り組みを強化してまいります。

(注)上記業績予想の前提となる第2四半期以降の為替レートは1米ドル=80円、1ユーロ=95円を想定しております。なお、業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上